

さよなら原発集會に17万人

世代を超えて、全国から原発反対！



国鉄労働組合
東海エリア本部

東京都港区新橋5-15-15
交通ビル4階
発行責任者 渡邊良成
編集責任者 細木義孝



灼熱の第一会場(サッカー場)を埋め尽くす参加者

この集會は、落合恵子氏や鎌田慧氏など9氏の呼び掛けに、え、労働組合や所属団体を超えて、実行委員会が主催した。

メイン会場から第4会場が設けられ、トークやコンサートなどが行われた。

澤地久恵氏は、「この未来に続いていく命のために、私たちが今できることをやろう」と訴え、その他にも瀬戸内寂聴氏や大江健三郎氏などの呼びかけ人が次々に原発をなくしていこうと訴えた。

集會終了後は、3コースに分かれてパレード行進が行われ、新宿中央公園コースが終了したのは19時過ぎと参加者の多さを表していた。

7月16日「さよなら原発10万人集會」が、東京・代々木公園で開催され、17万人が炎天下の中を集まった。国労も関東の各地本中心に参加。国労東海本部からは、新幹線、静岡、名古屋の各地本から参加した。労働組合などの組織に所属しない一般の参加者も多く、反原発の高まりが感じられた。

再稼働には負けない

この集會は、落合恵子氏や鎌田慧氏など9氏の呼び掛けに、え、労働組合や所属団体を超えて、実行委員会が主催した。

メイン会場から第4会場が設けられ、トークやコンサートなどが行われた。

澤地久恵氏は、「この未来に続いていく命のために、私たちが今できることをやろう」と訴え、その他にも瀬戸内寂聴氏や大江健三郎氏などの呼びかけ人が次々に原発をなくしていこうと訴えた。

集會終了後は、3コースに分かれてパレード行進が行われ、新宿中央公園コースが終了したのは19時過ぎと参加者の多さを表していた。

名古屋からの報告



炎天下のデモ、名古屋地本の組合員・家族

名古屋地本から組合員・家族22名が参加しました。会場一つ前の渋谷駅で降りたら、会場となる代々木公園に向かう参加者がすでに列をなし、信号機も一度ではわたれないほどでした。

代々木公園第二会場に到着すると、関東の国労各地本・支部の旗が目に見え、入場しました。

真夏を思わせる陽差しをさけ、木陰に待機し集會を待ちました。

その時点ですでに、いっしょに来た数人がはぐれてメイン会場

場である第一会場に行ってしまう、あまりの「人の数に圧倒された」「とてもステージ付近までは行き着けない」と語りました。

老人から乳母車にのった赤ん坊まで、帽子や手製のプラカードなど思い思いのやり方で、「原発はいらない」「再稼働やめる」の訴えが会場をうめつくしていました。頭上には、数機のヘリコプターが集會の始めから終わりまで旋回し、集會の様をとらえ、ときおり低空で旋回するなど、騒然とした雰囲気

に包まれていました。

広々とした代々木公園は、人で埋めつくされ、運動場や広場をつなぐ歩道、陸橋にも人が立ち並ぶ様子はまさに圧巻でした。

デモは、渋谷駅を横切り、恵比寿にむかうコースに参加しました。会場を出るだけで30分が過ぎ、デモはゆつくりと進みました。梅雨とは言え、暑い陽差しが照りつけるなかでの集會とデモ、心地よい疲労感、充実感にひたりながら、名古屋への帰路に着きました。

名古屋地本・伊藤耕二

「がん」の保障		「生きる」を創る。Aflac			
〈生きるためのがん保険Days(デイズ)〉		生きるためのがん保険DAYS(デイズ)スタンダードプラン			
保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合		◆月払保険料(団体取扱) (2011年4月1日現在)			
		入院給付金日額10,000円		定額タイプ保険料	
		払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)			
初めて診断確定されたとき	がんの場合	一時金として	100万円	35歳	45歳
	上皮内新生物の場合	一時金として	10万円	55歳	65歳
入院したとき	入院給付金	1日につき	10,000円	男性	3,656円
通院したとき	通院給付金	1日につき	10,000円	女性	3,734円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき	20万円	男性	5,608円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき	20万円	女性	5,274円
抗がん剤治療を受けたとき	抗がん剤治療を受けた月ごとに	10万円	(すべての保険期間を通じて通算600万円まで)	男性	9,360円
(上皮内新生物は対象外)	乳がん・前立腺がんのホルモン療法	5万円		女性	6,864円
	1カ月				9,048円
	1カ月				
	訪問面談サービスと専門医紹介				
	(このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)				

●詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

核兵器のない平和な社会へ!

広島と長崎の原爆投下から67年目の夏を迎えます。未だに世界には2万発以上の核兵器が存在していると言われています。オバマ大統領のプラハ演説から3年。被爆者の願い、人類の悲願である各兵器の廃絶が急がれます。

被爆地域指定の拡大を

被爆から67年、厚労省は、いわゆる「黒い雨」の降雨地域を証言があるにもかかわらず、被爆者援護法の指定地域拡大を認めない方向で進んでいます。

広島県と市が行った調査では、3万人以上が回答し、現在の指定地域の6倍近くの広範囲にわたりました。現在、指定地域外と言うことで多くの被爆者が放射性物質の影響による被害で苦しんでいます。勝手な線引きで差別をすることは断じて許され



ません。福島でも線引きが問題になっており、政府に真摯な対応を求めなければなりません。

世界大会の成功へ

今年も広島・長崎で原水爆禁止世界大会が開催されます。今回も二つの世界大会の開催となっています。ともに核兵器のない世界を求めており、「さよなら原発集会」と同様に一つになり、核兵器廃絶に向けた大きな力になることが求められています。

原爆投下を忘れない

広島・長崎の原爆による無差別・大量殺戮の犠牲者であり、被爆地の復興を担った国鉄労働者が多く亡くなっています。

鉄道死者の慰霊式典が今年で40年となります。この原爆投下の事実を風化させることなく継承し、平和をめ

組合員が申告//労基署がJR東海に指導票

一部の駅(新幹線以外)で、起床したことを電話で報告する作業を休憩時間(労働時間外)に行うことを掲示板で促したり、管理者が執拗に「説得」していました。

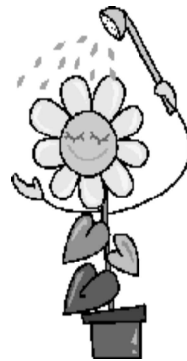
『起床報告とそれ以降の準備作業について、賃金の未払いにあたるのではないかと』した国労の申し立てに労働基準監督署(労基署)は、労基署は、起床という行為、そして起床の報告は労働にはあたらないと判断しました。起床報告が必要であるのか、また、それを行うかについては企業が判断するものであり、労基

署は関知しないという見解を示しました。

しかし、会社が、起床遅延を防止するために「本人(社員)が認めたから」「本人のためにやっていること」ということに対し、労基署は、「その行為を労働時間ではないとする決定的な理由にはならない」として、「任意だから労働時間ではない」とする考え方を強く否定しました。

『必要なものは労働時間とせよ』と言うのが国労の考え方で、今後問題の解消を目指していきます。

(名古屋地本の宣伝ビラより)



ざすことが死没者慰霊であり式典の意義でもあります。第40回国鉄原爆死没者慰霊式典が8月6日に広島、8月9日に長崎で開催されます。国労は、全国から参加し、献花する予定です。

安全で安心して働ける職場を

新幹線地本が安全集会以意思統一

新幹線地本は、6月2日、全分会長・安全集會を開催し、仕事総点検運動や安全問題の職場の取り組みについて議論を深め、職場からの闘いの意思統一をはかっています。

全分会が発言し、大阪車両所 構内運転者用のチョッキの使用 いまわしの改善、大阪保線所 災害時のアルミカートは一方を2台4名定員で、大阪運輸所 全ホームに可動柵の早急設置を、大阪第2運輸所 移動時に

頭を打った危険箇所の調査を、名古屋 大雨時の自動車巡回が危険で対策を、浜松工場 工場建て替えてのアスベスト対策を、静岡電保所 駅コンコースのローリングタワーで移動中は作業しないルールに、三島車両所 触車防止のための自動音声装置の設置を早急に、小田原保線所 最近事故が多く労災対策が必要、東京保線所 A工を保線所近くに集めて即応態勢が進んだ、東京運輸所 昇降台の下に入る時の指差確認での問題あり、東京駅 休養室の防音対策を、と述べています。

話し合い、実践を

集會の集約で地本・佐藤書記長は「国労だからこそ出来る運動がある。闘いの柱のひとつは安全問題で会社も避けて通れない。根拠のある要求を作らねばならない」との集約。

入院、地震、火災、交通事故…一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しっかり組み合わせて幅広く保障します。



火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済